2024年　5月15日　発行

伊勢自治会だより

安全、安心なまち、結ぼう絆

２０２４年5月号　No.322

●伊勢町の人口と世帯数　※４月３０日現在
　人口総数：2,551人　（前月比　＋3）
　世帯数　：1,240世帯　（前月比　±0）
●発行　伊勢自治会
●伊勢町自治会館　電話・Fax　077－583－7849

ご入園・ご入学おめでとうございます

守山南中学校

物部幼稚園

物部小学校

４月８日（月）は物部小学校、守山南中学校の入学式、９日（火）には物部幼稚園の入園式がおこなわれました。両日とも桜の花が見事に咲き誇り、保護者の熱い期待が寄せられた式となりました。

行事予定

＊コロナウイルス感染状況を踏まえ、予定変更の可能性があります。ご了承ください。＊

（守：守山市主催）

開催日	行事	時間	場所	対象者
毎週火曜日	伊勢すいすいクラブ（下記参照）	10：00～	自治会館	0歳から未就園児の親子
5月23日（木）	ミニミニサロン	9：30～	自治会館　1F	75歳以上の方
6月　1日（土）	花の街角づくり運動の準備	9：00～	西浦公園集合	まち（安/環）・子ども会役員
6月　2日（日）	ごみゼロ大作戦 守	9：00～	木浜海岸周辺	まちづくり（安/環）
	伊勢町自衛・女性消防/消火栓・ボックス点検	8：30～	西浦公園集合	自衛・女性消防隊
6月　8日（土）	花の街角づくり運動	9：00～	西浦公園集合	まち・子ども会役員
6月13日（木）	卑弥呼カフェ	10：00～	自治会館　1F	伊勢の皆さん
6月15日（土）	評議員会	19：30～	自治会館　2F	評議員
6月16日（日）	伊勢町歩こう会	9：20～	芦刈園	伊勢のみなさん
	班長・組長連絡会	19：30～	自治会館　1F	班長・組長

伊勢すいすいクラブ
（子育てサロン）
参加費無料

毎週火曜日　10：00～

6月　4日　もりの風の先生と運動遊び
6月１１日　英語であそぼう
7月　2日　親子でふれあい遊び
7月　9日　英語であそぼう

詳細・予約受付は、ホームページで
⇒　https://suisuiclub.crayonsite.net/

６月の自治会館清掃
（輪番制）
北１班2組
６/９（日）
午前８：３０～
よろしくお願い致します

＊＊ 問い合わせ先：伊勢町自治会館（０７７－５８３－７８４９）日・祝日を除く９：00～12：00 ＊＊

すいすいクラブ　英語であそぼう　4/2（火）

新年度が始まりました。英語であそぼうではピアノの音楽に合わせて動物の真似をして歩いたり、走ったり、先生の言う色(red、blue、pinkなど)のカードを手に持って上げ下げしたりしました。子どもたちはとても楽しそうに英語に触れていました。すいすいクラブでは新しいお友だちが来てくれるのを待ってます。ぜひ足を運んでみてくださいね。

犬の登録と狂犬病予防接種　4/19（金）

狂犬病の予防接種・犬の登録が伊勢町自治会館横の西浦公園で実施されました。動物病院でも、狂犬病予防注射の接種が受けられます。お忘れの方は必ず予防接種をお受け下さい。

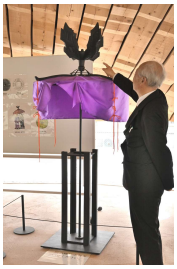
大宝神社清掃　4/21（日）

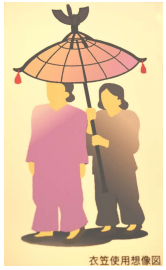
９時から例大祭に向けて、神社境内や周辺の清掃作業が近隣の自治会の方々の協力のもとに実施されました。天候の関係で例年に比べ参加者は少なめでしたが、ご参加いただきました皆さまありがとうございました。

卑弥呼カフェのお知らせ

毎月第2木曜日、朝10時から伊勢町自治会館にて開催しています。11時半までではありますが、楽しいひとときを一緒に過ごしませんか。次回は6月13日です。

復元された『衣笠』が公開されています！！





伊勢遺跡史跡公園では４月２５日より復元された衣笠を一般公開しています。ハノ坪遺跡（市内播磨田町）では全国で初めて衣笠の立飾り（古墳時代前期のもの）が出土していますが、衣笠は王やその一族など高貴な人物が屋外へ出たとき、従者が大きな笠を差し上げ、その居場所を示した道具です。出土した衣笠の立飾りは出土例としては全国唯一の事例であり、桂の木に弧状の文様帯を縦横に組み合わせた模様が削り出され、黒うるしを塗って仕上げられていました。今から１８００年ほど前に守山に強大な権力を持つ王が住まいしていたことがわかります。復元された衣笠を見て、強大な権力を持つ王や豪族の姿を想像してみましょう。

伊勢遺跡史跡公園の展示物（その3）　受口状口縁甕（かめ）

弥生時代中期から古墳時代中頃まで、滋賀県だけにみられる特徴的な甕（ご飯を炊く道具）が作られています。土器の口の部分を見ると、現在の鍋（なべ）と同じく蓋（ふた）を落とせるように受口になっています。甕の口のまわりには、お米を炊いた際にできた「吹きこぼれ」の痕（あと）が残るものがあり、また、出土した甕の底に「おこげ」が残っているものもあり、現在と同じようにお米を炊いていたことがわかります。この甕は古墳時代半ばまで使われていて、６００年以上近江の人たちがお米を炊く道具として愛用していました。この甕は広範囲の地域で出土していて、近江の人が旅行するときも腰にぶら下げて持ち運んでいたと考えられ、周辺地域と活発な交流があったことがわかります。

＊4月号の訂正とお詫びについて　【誤】一時避難所　【正】一時避難場所

― お断り ―　本文中敬称を略させていただきました。ご了承ください。